

定量的劣化対策の講習会

コンクリートメンテナンス協会

4月11日に広島県民文化Cで

(一社)コンクリートメンテナンス協会(徳納武
使会長)らは4月11日の
午後1時から、広島市中
区大手町の県民文化セン
ター多目的ホールで『亜
硝酸リチウムを用いたコ
ンクリート補修工法「リ
ハビリ工法」の定量的か
つ総合的な考え方に関す

る技術講習会』を開催す
る。
同協会では、亜硝酸リ
チウム併用型表面含浸工
法「プロコンガードシス
テム」がこのほど新たに
NETIS登録されたこ
とを受け、複数の工法を
取り入れることで進展期
以降の劣化にも効果があ

る「リハビリ工法」を確立
した。

今回の講習会は亜硝酸
リチウムを用いた定量的
なASR・塩害・中性化対
策を伝授するもので、講
師は同協会技術委員長で

工学博士の江良和徳氏
(極東興和)が担当。第1
部では『リハビリ工法』
の基本的な考え方ゝひび
割れ注入、表面含浸、表面
被覆、断面修復、内部圧入
ゝ、2時45分頃からの第
2部では『劣化機構、劣化

程度に応じたりハビリ工
法の定量的な設計方法と
その組み合わせゝ具体的
な補修設計と期待される
効果についてゝ』をそれ
ぞれ解説する。

定員は300人で参加
は無料。申し込み等は同
協会HP (<http://www.j-cma.jp/>)で受け付け
ている。

なお、共催は広島県コン
クリートメンテナンス協
会。後援は広島県コンクリ
ート診断士会、中建日報社。